

パテントマップの作成と 知財戦略の実践方法



アイ・ピー・ファイン株式会社

1. 特許の出願動向(米、日、中、韓、欧の特許出願件数推移)

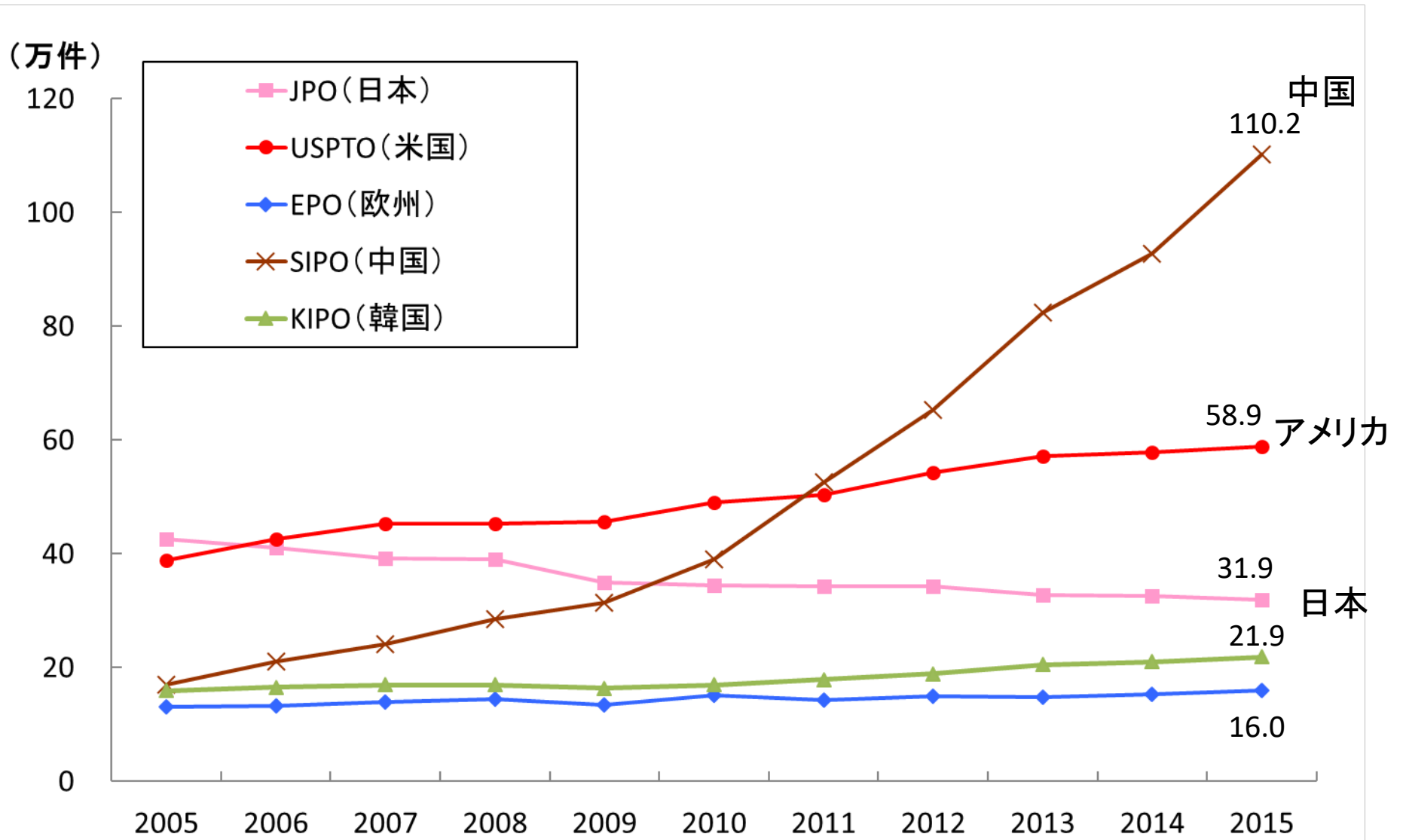
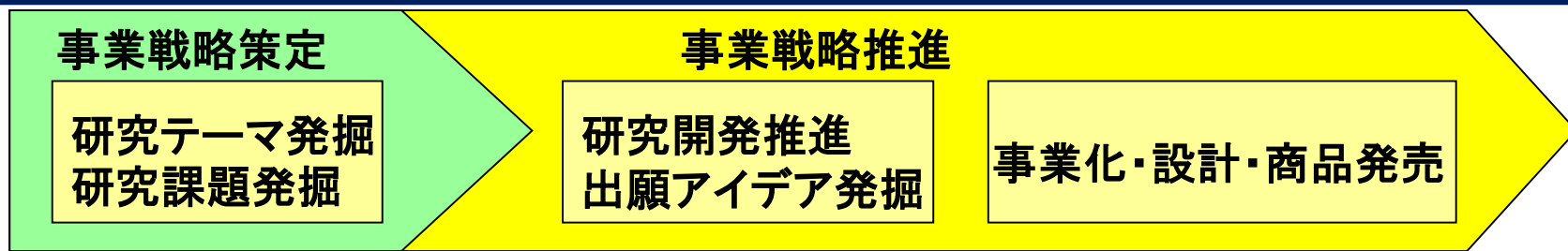


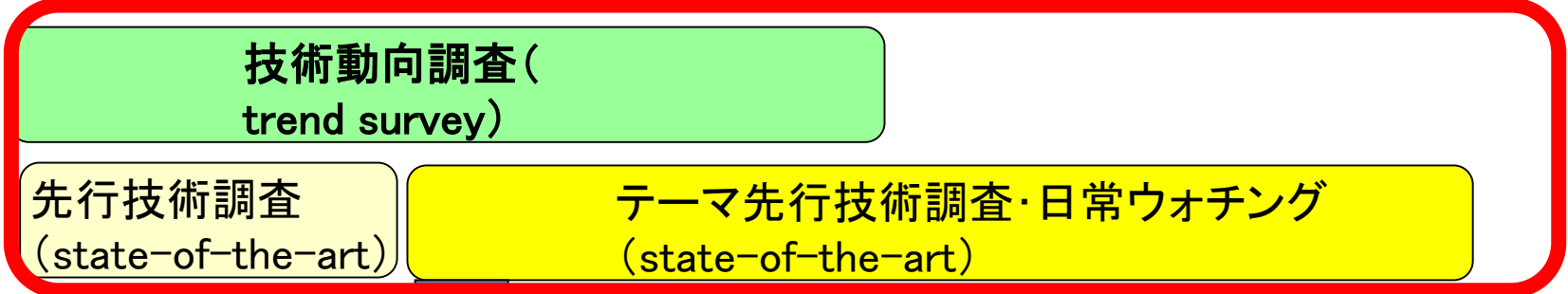
図. 米、日、中、韓、欧の特許出願件数の推移

出展: 特許庁作成(出願年)

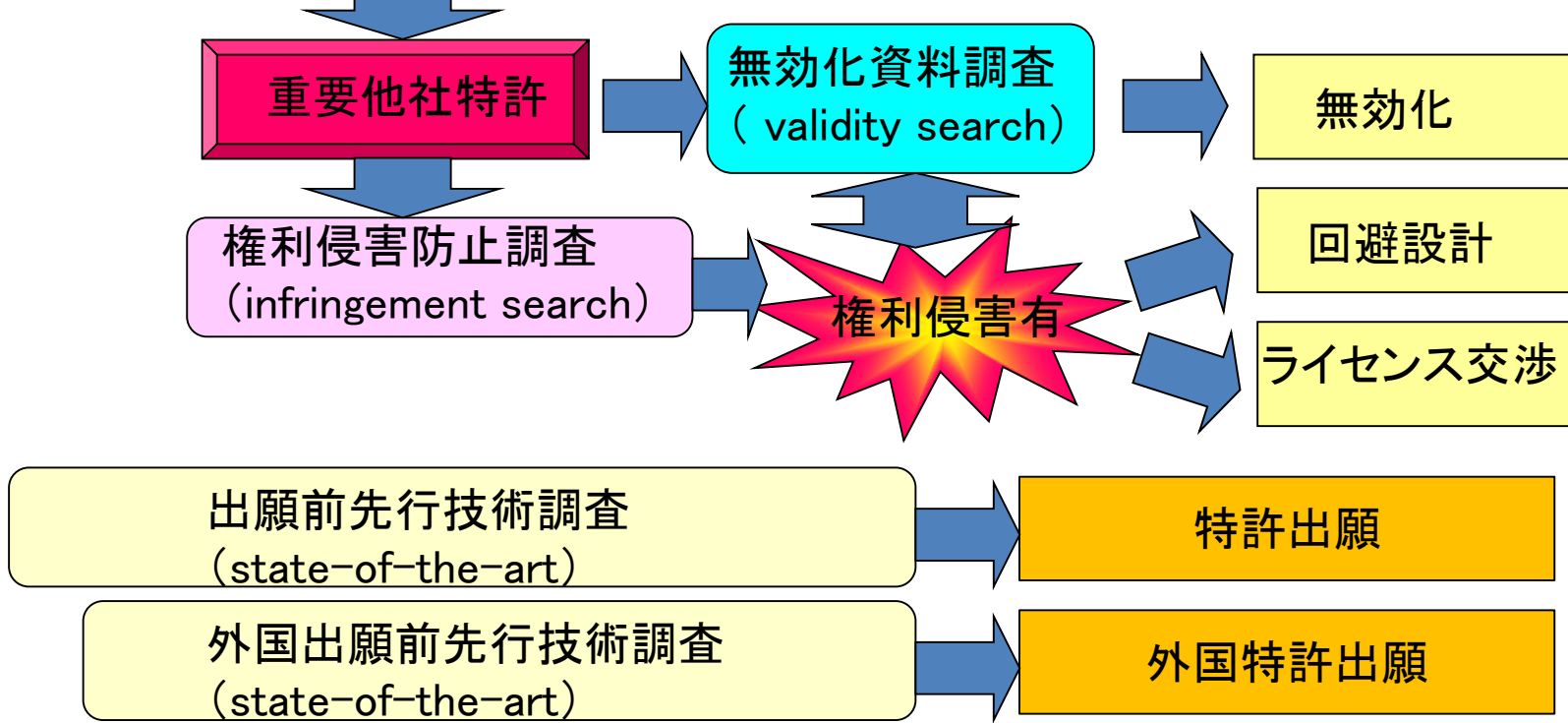
2. 企業における事業ステップと必要な特許調査



技術情報



権利情報



3. パテントマップの目的

パテントマップの目的はひとつ

技術開発競争に必ず勝つ為

勝つための特許戦略

- ①他社より早くテーマに着手
- ②他社が気づいていない課題に着手
- ③他社の出願が手薄な課題に着手
- ④着手が遅ければ他者に勝る資源投入(人材・資金・設備)

4. IPランドスケープとは

IP (intellectual property)

知的財産

ランドスケープ (landscape)

景観を構成する
諸要素

IPランドスケープ

自社の知財戦略・経営戦略の策定や適切な知財業務を行うにあたり
自社を取り巻く知的財産の内外の状況を調査・分析する

知財の景観(状況や先行き)を展望し、
知財分析を経営の方針決定に活かす

5 知財業務の経営上重要度と発生頻度

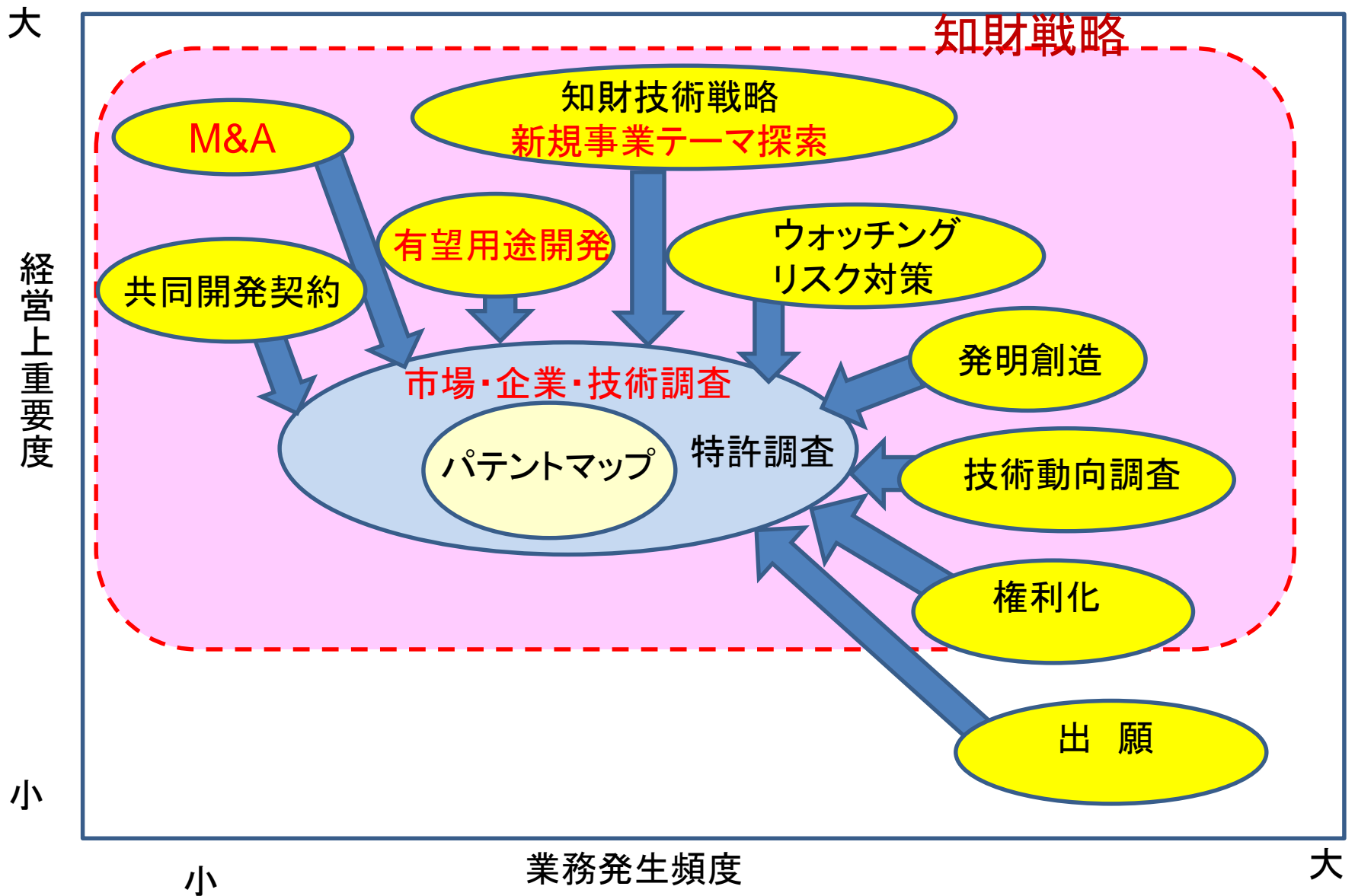


図 知財の業務の経営上重要度と発生頻度(私案)

6. IPランドスケープとは そのステップ(私案)

①経営戦略に基づくIPランドスケープ指示

②調査計画の策定と承認

把握すべき状況

- 市場状況(規模、競争、シェア)
- 技術動向(競争開発、キー技術)
- 知財状況(出願、登録、競争)

調査

マップ化

現状把握

③現状把握

自社現状

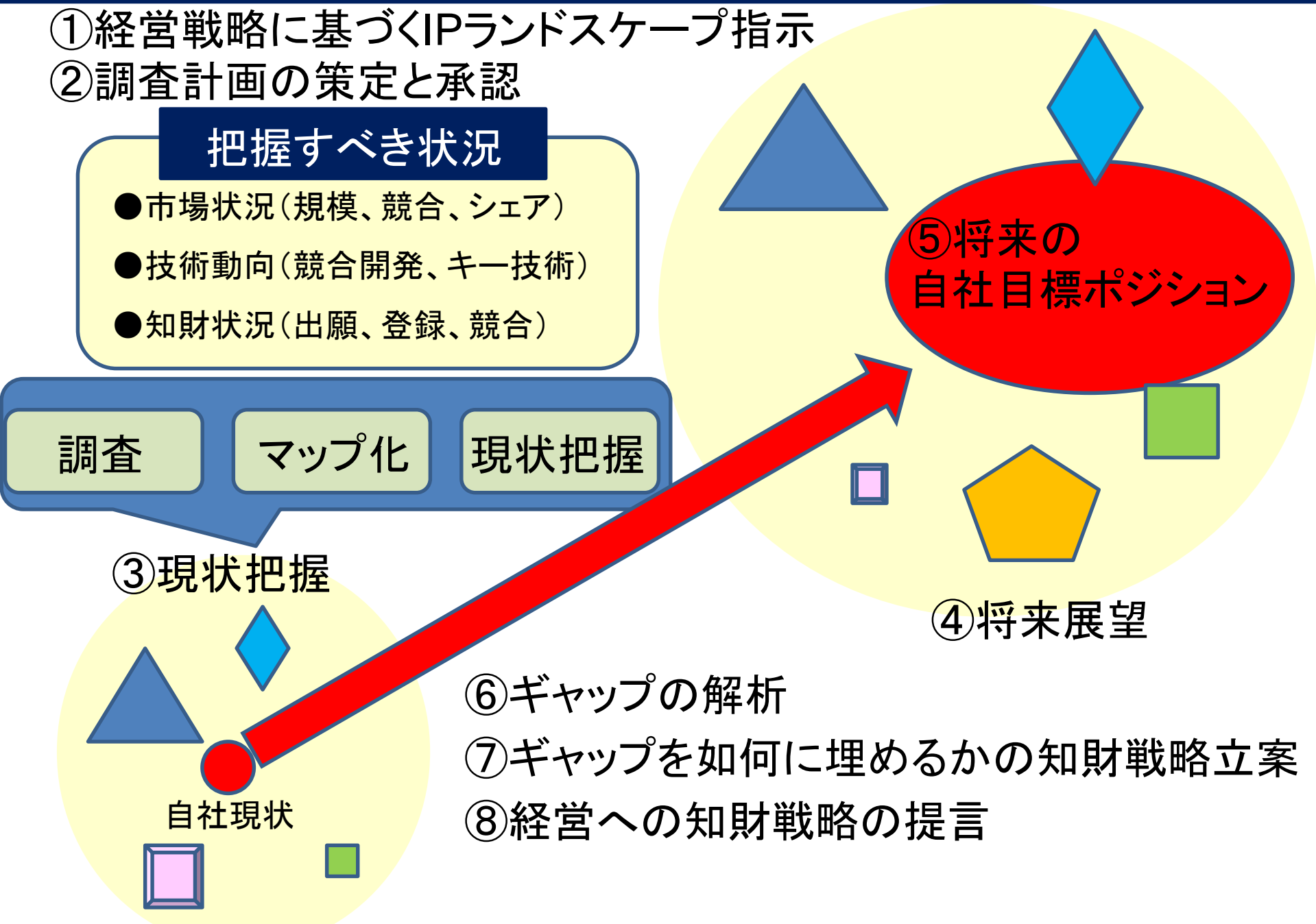
⑤将来の
自社目標ポジション

④将来展望

⑥ギャップの解析

⑦ギャップを如何に埋めるかの知財戦略立案

⑧経営への知財戦略の提言



7. 知財戦略とは

知財戦略とは、企業活動において自社の事業を強くするための以下の戦略

①知財・市場状況の把握から戦略立案

①知的財産の創造

②知的財産の権利化、保護

③知的財産リスク対応

④知的財産の活用